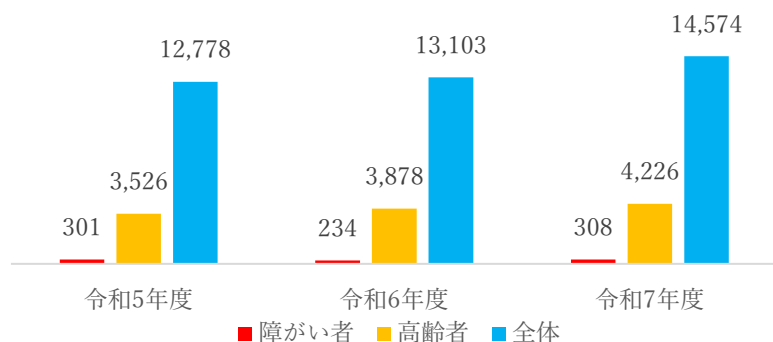




岐阜県内の高齢者・障がい者等の消費生活相談の状況

令和7年度に県及び県内市町村に寄せられた65歳以上の高齢者の相談件数は4,226件で、前年度に比べ348件増加、障がい者(※)の相談件数は308件、前年度に比べ74件増加しました。相談全体に占める65歳以上の割合は約3割となっています。

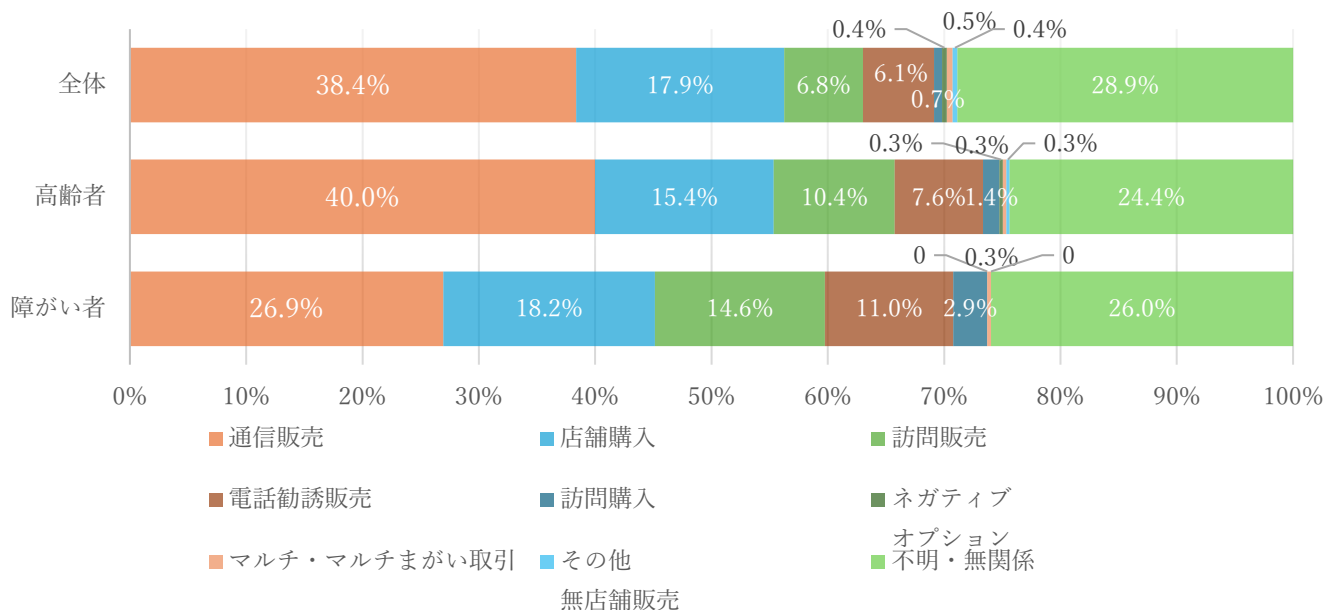
全体・高齢者・障がい者の相談件数の推移



販売購入形態別にみると、消費者生活相談全体と比べて、「訪問販売」、「電話勧誘販売」、「訪問購入」の割合が高くなっており、日中の時間帯に家にいることが多いことにより、訪問等による勧誘を受けやすいことが一因と考えられます。

※心身障がい者又は判断能力の不十分な方と消費生活センター等が判断した方

高齢者・障がい者等の販売購入形態別相談件数の割合（令和7年度）



<身近な高齢者・障がい者を守るために>

高齢者や障がい者の消費者トラブルを防ぐためには、不審な人間が出入りしていたり、困った様子がないか等、日頃から生活や言動、態度などを見守り、身近にいる周りの方が変化にいち早く気づくことがとても重要です。県や市町村の消費生活センター等への相談は、家族やホームヘルパー、地域包括支援センターなどの職員からでも可能です。身近な高齢者等がトラブルにあっているのではないかと気づいた場合は、できるだけ早く相談してください。



震災・豪雨災害に便乗した詐欺に注意!!

令和8年7月28日発生の「令和8年熊本地震」や全国的に発生している豪雨災害などに便乗して、「義援金の募集」などを名目とした詐欺が発生する可能性があります。



- 公的機関や災害支援団体等をかたり、義援金の募集を名目に現金、電子マネー、暗号資産等をだまし取る詐欺
- 被災者の身内や友人等を装い、困窮を理由に送金を求める詐欺
- 警察官を装い、震災などに関連した理由により送金を求める詐欺



※寄付先が不透明な募金は詐欺の可能性あります。

人の善意につけこむ悪質な犯罪です！注意してください！

お金に関する電話やメールは詐欺を疑い、家族や警察に相談！

10月は食品ロス削減月間

まだ食べられるのに捨てられている食品の量は

年間約 **461万** トン



毎日1人あたり・・・

おにぎり約1個

約102gの食べ物を捨てている計算です



食品ロス削減のためにできることから始めてみましょう！

家で

- ✓残さず食べる
- ✓冷凍保存を活用
- ✓定期的に冷蔵庫・食品庫をチェック

買い物で

- ✓必要な分だけ購入する

- ✓すぐ食べるものは「てまえどり」する
- ✓賞味期限が過ぎてもすぐ捨てず、食べられるか確認

外食・地域で

- ✓食べきれる量を注文する

- ✓お店の了解を得て持ち帰る

- ✓余っている食品を寄附する



毎月10日・30日は
冷蔵庫・食品庫チェックデー

- ✓賞味・消費期限が近い or 切れた食品
- ✓傷みかけの食品（野菜など）
- ✓使いかけ、食べかけの食品
- ✓長期間冷凍したままになっている食品

当てはまった食材は、
食べられるか確認して早めに使いきりましょう！